



お申し込みは
こちらから！

ウェルビーイングの実現に向けた これからの生涯学習・社会教育

～誰一人として取り残さない社会を目指して～

開催日 令和5年10月28日[土]

会場 水戸市民会館 **参加費** 無料

対象者 地域の課題解決に関心がある方

参加方法 会場に参加またはオンラインで参加
※軽装でご参加ください。

第9回

実践研究交流会
生涯学習・社会教育
関東近県

共催 茨城県教育委員会、茨城大学、茨城県生涯学習・社会教育研究会
主管 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会
協賛 NPO法人ひと・まちなっとわーく、NPO法人インパクト
NPO法人日本スポーツ振興協会、(公財)茨城県教育財団
(公財)日本教育公務員弘済会茨城支部
後援 福島県教育委員会、栃木県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会
千葉県教育委員会、神奈川県教育委員会、茨城県青少年育成協会
協力 国立教育政策研究所、茨城県教育庁社会教育主事会
茨城県市町村配置社会教育主事会



令和5年、生涯学習・社会教育を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。「コロナ後の社会づくり」、「ロシアによるウクライナ侵略」など、目まぐるしいほどの社会転換です。

「何を、どう」学ばばいいのかという課題が、社会教育分野に問いかけてられているに違いありません。

本年度の第9回大会は、令和6年に水戸市で開かれる「第66回全国社会教育研究大会茨城大会」のプレ大会として実施されることになりました。したがって、大会テーマを「ウェルビーイングの実現に向けたこれからの生涯学習・社会教育」として、「子どもをめぐる実践」を中心課題に据えました。大きな社会転換は「子どもの社会化」にとって重大な影響を与えていると考えられるからです。

また、今回は新設された水戸市民会館にて行うことになりました。新しい会場で、新しい課題と格闘し続ける多数の実践報告を中心に、私たちの幸せ課題の「今」を確かめ合いたいと思います。

第9回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会 実行委員長
茨城大学 名誉教授

菊池 龍三郎

社会教育実践には、 その一つひとつに物語があります。

- あなたも、その物語に入り込んでみませんか
- あなたも、あなたの物語を考えてみませんか
- あなたとみんなの「幸せ物語」を創ってみませんか

現代社会は大きく変化し続けています。だから、「学びのカタチ」も大きく変わり続けています。今回の交流会は、この大きな変化にさらされ続けている「子どもの学び」を中心課題に設定しました。「コロナパンデミックは、子どもたちの『友だちのつくり方』まで影響を与えている」と指摘されています。今、私たちは、AI社会やグローバル社会に生きる子ども世代に必要な「学びのカタチ」を模索し始めていると考えます。学校・地域・家庭など多様な場で、社会教育実践が「どのような学びのカタチ」に挑戦しているのかを交流してみることにしました。参加する皆さんの力で、心も装いも普段着で、悩み全開、意見交換全開の実践交流会にしたいと思います。



【水戸市民会館へのアクセス】

- 水戸駅からバスをご利用の方
北口(4～7番のりば)から約5分
「泉町一丁目」下車、徒歩1分
- お車でお越しの方
会場に駐車場はありません。
近隣の有料駐車場をご利用ください。
- 徒歩でお越しの方
水戸駅北口から徒歩約20分

詳細は
水戸市民会館の
ホームページを
ご覧ください。



<https://www.mito-hall.jp/access/>

事例発表

●受付 12:00～12:30
●オープニング 12:30～13:00

事例発表① 13:20～14:10

- A 【茨城県】 学校を核とした地域づくりをめざす
「住みよい堅倉地区をつくる会」
～学校・保護者・地域と連携した防災教育～**
住みよい堅倉地区をつくる会 会長 磯辺 寛 氏
事務局広報 郡司恵美子 氏
- B 【群馬県】 居場所づくりから考える、
みんなで社会で子どもを支える「協育、取り組みについて」**
特定非営利活動法人 ターサ・エデュケーション 代表理事 市村 均光 氏
- C 【茨城県】 ファシリテーターのスキルを活かした事業展開と工夫について
～家庭教育学級、子育て支援活動の取組を通して～**
特定非営利活動法人 ネットワークサポート親楽 理事 大谷 孝子 氏
理事 竹村 拡子 氏

事例発表② 14:20～15:10

- D 【茨城県】 大学生や高校生による
オンラインでの不登校支援とコーディネート**
For Everyone Study 代表 植竹 智央 氏
- E 【茨城県】 子どもの笑顔が地域を創る～「元気っ子事業」を通しての
「人の輪、組織の輪、地域の和」の確立を目指して～**
日立市会瀬学区コミュニティ推進会 青少年育成部副部長／会瀬小CS副会長 豊田 義幸 氏
副会長・事務局長／会瀬小CSコーディネーター 柴田 百恵 氏
- F 【栃木県】 真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくろう」について**
真岡市総合政策部プロジェクト推進課複合交流拠点整備係 係長 林 大輔 氏

事例発表③ 15:20～16:10

- G 【神奈川県】 地域で自立して生活する力をつけるための地域学校協働活動**
神奈川県立あおば支援学校 地域学校協働活動推進員 佐々木由紀 氏
地域学校協働活動推進員 武智 理恵 氏
- H 【福島県】 子どもの居場所から始まる「つながりと笑顔」のまちづくり**
福島市子ども食堂NET 代表 江藤 大裕 氏
- I 【茨城県】 地域と学校をつなぐコミュニティ活動
～コミュニティ協議会が果たす役割と実践事例～**
神栖四中学区地域コミュニティ協議会 会長 樋口 義則 氏

●クロージング 16:20～16:35

申込方法

① 表紙のフォーム (QRコード) から申し込む ② FAXで申し込む

第9回大会 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会 [FAX申込書]

FAX 029-301-5339

宛先

関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会事務局
(茨城県教育庁総務企画部生涯学習課内) 宛

※原則、お一人ずつ申し込みが必要です。団体での申し込みを希望される場合は、ご相談ください。

ふりがな				
氏名				
所属			役職	
連絡先	TEL			
	E-mail	※オンライン参加を希望する方は必須		

参加方法及び参加を希望される事例の英数字に○をつけてください。※裏面の事例概要をご参照ください。

内容	期日	参加方法	申込締切
事例発表	令和5年 10月28日(土)	1. 会場で参加 (定員200名) 2. オンラインで参加 (定員300名) ※Zoomによる同時双方向通信	令和5年 10月20日(金)
		参加希望 ① 13:20~14:10 A B C ② 14:20~15:10 D E F ③ 15:20~16:10 G H I ※①はA・B・C、②はD・E・F、③はG・H・Iから選択。	

※申込者が定員を超えた場合は先着順となります。

※オンライン参加を希望された方に必要な情報は、申込書記載のE-mailに10月24日(火)を目途にご連絡いたします。

※「@pref.ibaraki.lg.jp」からのメールが受信できるようドメイン指定を行ってください。

【参加者の皆様へ】

- 水戸市民会館に駐車場はありません。当日はできる限り公共交通機関をご利用ください。
- 個人情報は、本交流会に関する以外目的では使用いたしません。
- 交流会の様子(写真、動画、アンケート内容等)をウェブサイト、オンライン配信、SNSや報告書等で使用することをご了承ください。
- 今後、新型コロナウイルス感染症や自然災害等の影響により、大会内容等を変更する可能性があります。(変更した際には、右記ウェブサイト等でお知らせいたします。)

最新情報は、以下QRコードより
ご覧ください。



茨城の生涯学習HP



フェイスブック

【問合せ先】 関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会事務局

(茨城県教育庁総務企画部生涯学習課内) 担当:菅谷

TEL:029-301-5318 FAX:029-301-5339 E-mail:shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp